

令和6年2月16日

社会福祉法人本庄市社会福祉協議会

会 長            吉 田   信 解   様

本庄市地域福祉推進委員会

委員長 栗 田 弘 志

本庄市地域福祉活動計画の策定について（答申）

令和4年10月3日付け本社協発第384号により当委員会に諮問のありました「ふくしの杜ほんじょうプラン21」に基づく計画の進捗について及び次期本庄市地域福祉活動計画の策定について、下記のとおり答申いたします。

記

平成31年4月からの5年間を計画期間とする「ふくしの杜ほんじょうプラン21」に基づく各取組については、当委員会の意見を踏まえた上で、着実に前進しているものと評価いたします。

制度の狭間にあって対応できない課題や地域における様々な生活課題に対し、公的な福祉サービスだけでは対応することが難しい状況となるなか、社会福祉協議会、地域住民、民生委員・児童委員、福祉事業者等が、それぞれの立場から役割を果たしながら、人々が自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成するとともに、互いに助け合って暮らすことができる「地域共生社会」の実現に向け、市との協働のもと取組を進めることが重要です。

次期計画の策定にあたり、次期本庄市地域福祉活動計画で示された、本市における住民主体・住民参加の取組の方向性を道標として、更なる地域福祉の推進に努めていただきますようお願いいたします。